

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会〔第6回〕

平成30年2月22日(木) 午後7時00分

松川町役場 2階 大会議室

1. 開 会

2. あいさつ

- ・委員長
- ・町長
- ・JR東海
- ・長野県

3. 会議事項

(1) 経過説明と現状の報告

①発生土置き場について〔P 3〕

②ガイドウェイヤードについて〔P 4〕

③その他〔P 5〕

(2) 質疑・応答

4. そ の 他

5. 閉 会

松川町リニア中央新幹線建設工事対策委員会 委員構成

(敬称略、順不同)

区分	氏 名	所 属 役 職 等	備 考
(1)	福与 勉	古町区会	
(1)	泉崎 明好	上新井区会	
(1)	伊藤 武人	名子区会	副委員長
(1)	熊谷 彰三	大島区会	
(1)	松尾 貢	上片桐区会	
(1)	鈴木 峰好	福与区会	
(1)	北林 重男	部奈区会	
(1)	福澤 貞和	生東区会	
(2)	森谷 岩夫	松川町議会 推薦	委員長
(2)	熊谷 宗明	松川町議会 推薦	
(3)	橋爪 和也	自然環境関係識見者	松川町環境審議会委員
(3)	寺沢 秀文	不動産関係識見者	
(4)	佐藤 清	松川町農業委員会 会長	
(4)	大島 慎男	JA みなみ信州松川支所 経営委員長	
(4)	大原 昭彦	松川町商工会 会長	
(4)	澤 泰一	松川町商工会 建設業部会長	
(4)	鋤柄 富男	松川町観光協会 会長	
(4)	伊藤 政穂	松川町交通安全協会 会長	
(4)	御子柴弘子	松川町交通安全協会 女性部長	
(4)	保科 義浩	松川町交番 所長	
(4)	宮下 智博	松川町教育委員	
(5)	名取 裕美	公募委員	

(1) 区会の代表者等 (2) 町議会議員 (3) 識見を有する者 (4) 関係団体の代表者等
(5) 公募委員 (6) その他町長が必要と認めた者

[その他]

※要綱第5条第2項に基づき、長野県からアドバイザーとして関係部署職員等の出席を求める。

※同規定に基づき、JR 東海等に対し、説明者の出席を求めることを予定している。

(1) 経過説明と現状の報告

①発生土置き場について〔第5回対策委員会以降〕

＜経過＞

H29. 10/25	生東区リニア対策特別委員会設置及び第1回委員会（生東会館）
11/6	【再検討要望書】「発生土置き場候補地の取り下げ検討について」〔福与⇒町〕
11/14	生東区リニア対策特別委員会(第2回)（生東会館／JR 東海、県、町出席）
12/4	福与、JR、県、町による意見交換会（役場／福与からの再検討要望について）
12/21	〔JR 主催〕発生土埋立、県道改良計画説明会【延期】・・・①
H30. 1/25	発生土置き場候補地の情報提供(松川インター企業団地)〔町⇒県〕
1/26	〔町主催〕生田地区の課題とリニア関連工事の活用に係る生田地区3区の打合せ会議（役場／生田3区のリニア対策役員、区会役員）・・・②
2/2	【回答書】「発生土置き場候補地の再検討要望について」〔町⇒福与〕
2/26〔予定〕	〔町主催〕発生土置き場に係る生田3区の打合せ会議(第2回) (役場／生田3区のリニア対策役員、区会役員)

① 昨年12月21日に予定された、生東区への盛土計画（丸ボッキ地籍）及び県道22号線の改良計画説明会について、町は状況を鑑み、延期を生東区とJR東海に要請。了解を得る。

② 本年1月26日。町は、生田地区3区の相互理解と、発生土の受け入れと地域活性化に関わり、生田3区関係役員の会議を開催。

生東区：悲願である、県道22号線の改良が目的。

3か所はあくまでも埋立候補地。全箇所は埋立てにこだわらない。

生東区内の合意形成は、JRから工事計画が提案されてから。

福与区：寺沢川上流3か所への不安。JR東海への不信。

候補地情報提供の時点に戻り、3区で協議が必要。

○合意事項

1. 平成26年、当町から長野県へ提供した、生東地区内3か所の発生土置き場候補地については、生田地区3区において、候補地としての適否を検討する。
2. この検討にあたっては、町が主導すると共に、生田地区3区の相互理解と協力を基本とする。

②ガイドウェイヤードについて(松川インター企業団地) [第5回対策委員会以降]

<経過>

H29. 9/8	JR 東海と町による打合せ(5 回目) [JR 東海、町]
10/4	〔町主催〕松川インター企業団地地元説明会(第 2 回) (地権者・関係者／JR 東海より説明)
10/13	JR 東海と町による打合せ(6 回目) [JR 東海、町]
H30. 2/6	〔町主催〕松川インター企業団地地元説明会(第 3 回) (地権者・関係者／進捗状況説明)
3/[予定]	JR 東海と町による打合せ(7 回目) [JR 東海、町]
3/[予定]	〔町主催〕松川インター企業団地地元説明会(第 4 回) (地権者・関係者／計画図説明)

2/6 地元説明会の概要

町から)

- ・ A:造成地の地権者、B:造成拡張地の地権者、C:造成地隣接の地権者それぞれへの意向調査報告
- ・ 発生土運搬道路の課題、上片桐バイパスの構想説明
- ・ 地元協議会の設置を提案
- ・ 造成(高)計画案を委託設計中。3 月に提示予定

意見)

- ・ 道路を隔てた宅地の住民への意向調査が必要。(聴くようにする)
- ・ B 拡張区域については、清北自治会として、改めて自治会の合意が必要。
- ・ 運搬道路は、住宅地、通学路を避けるため、上片桐バイパスと松川大橋の接続を。
- ・ 工事中、造成後の埃対策。法面処理への要望。
- ・ 埋立土の安全確保。

③その他

- 1) 発生土を活用する前河原道路の概略設計中（盛土約 10 万 m³）
- 2) 工事関連車両の通行等に係る意見・要望等の集約結果（9/15 地区・団体に照会）
提出団体 8/依頼団体 14

○意見・要望等〔要約〕

- ・ 交通法規の徹底と運転マナーの厳守
- ・ 通学時間帯の運行規制と速度の自主規制
- ・ 幅員の狭い道路への工事関係車両の通行配慮
- ・ 道路が損傷した場合の早急な対応
- ・ 信号機を歩車分離信号機に改良（県道松川インター大鹿線/農協前）
- ・ 横断歩道の新設（県道松川インター大鹿線/松川インター選果場前、旧高田たばこ店前）
- ・ 事業進捗状況の適時説明
- ・ 工事関係者の流入による生活安全面の対策

平成29年11月6日

松川町長 深津 徹 殿

福与地区リニア工事対策委員会

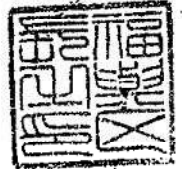
委員長 米澤正幸



福与区

区長

鈴木峰好



発生土置き場候補地の取り下げ検討について

秋冷の候、貴職に於かれましては益々ご清栄のことと存じます。

日頃は 福与地区の運営に格段のご配意をいただき誠にありがとうございます。

さて、当 委員会が「残土受け入れ反対」の意思表示をしてから 早や一年となりました。

この間、当委員会では発生土置き場の問題に関連し、地域住民の安全・安心に対する 不安の払拭に向け、専門家を招き 当該地の地形や地質・地下水などの諸項目にわたり勉強会を重ね、計画の見極め材料として学習してきましたが、問題点が多くみられ不安が増幅した感があります。

ところで、当委員会の 残土受け入れ反対 の意思表示以降、残土置き場候補地が所在する 生東区に於いて明確な態度表明が見られません。加えて申せば平成26年11月21日付の生東区 単独での残土受け入れの要望書提出以降も、目的が明確でなく条件が合えば受け入れても良い と言った曖昧な姿勢で、「平らな農地を作りたい」の活用目的から「残土を運ぶ道路の改良」にと 何故か目的が変わってきており、「残土を活用した地域の活性化」の意向は伝わってきません。

一方JR側に於いても、福与区の思っている不安や懸念事項の払拭に向けた努力を行うでもなく、 生東区への積極的な働きかけも無く「残土を置きたい」の意向は小さいのではと受け止めています。

すなわち、生東区・JR 共に「残土を置きたい」の希求は薄く、福与区だけが 何故か受け入れに 反対しているといった状況にあります。

係る状況下に於て、10月24日の委員会で慎重討議の結果「発生土置き場候補地」の取り下げ を含め、残土置き場問題を原点に戻り 早急に再検討される事を強く要望します。

以上

29 松政第 170 号
平成 30 年 2 月 2 日

福与地区リニア工事対策委員会
委員長 米澤 正幸 様

福与区
区長 鈴木 峰好 様

松川町長 深津 徹

発生土置き場候補地の再検討要望について（回答）

春の到来が、例年以上に待ち遠しい寒波が続いています。貴職にはリニア工事発生土置き場についてお取組みをいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、平成 29 年 11 月 6 日付ご要望のありました標記について、平成 30 年 1 月 26 日開催の「生田地区 3 区の打ち合わせ会議」において合意をいただきました下記的事项をもって、回答とさせていただきますと存じます。

何卒ご理解いただき、今後ともご協力を賜りますようお願い申し上げます。

記

1. 平成 26 年において当町から長野県へ、発生土置き場の候補地として情報提供を行った生田地区内 3 か所については、今後、生田地区 3 区において、候補地としての適否を検討する。
2. この検討にあたっては、町が主管し、また生田地区 3 区の相互理解と協力を基本とする。

松川インター企業団地 位置図

